

科目名	人文社会看護学演習Ⅲ Humanities and social Nursing SeminarⅢ		担当教員 (研究室番号)	小池 敦 (510) 浦野 茂 (503) 安部 彰 (505) ドライデン いづみ (502) 森下 直紀 (508)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
										遠隔授業	一部
科目目的	看護ケアの実践とその対象となる人々の生活経験(日常生活、誕生、病気、障害、死など)をめぐる問題や課題について、履修者の研究テーマと関わりある主題を取り上げ、その心理的・社会的・倫理的側面について検討することにより、理解を深める。										
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追究していきける研究能力を身につけている。									
	関連するDP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。									
到達目標	看護ケアの土台を構成している心理的体験と社会的環境・倫理性について、既存の看護実践の捉え直しにもとづき、その新たなあり方を構想し推進できるような能力を獲得することが、この科目の目標です。										
成績評価方法(基準)	授業における報告(50%)、授業への参加状況(50%)										
教科書	適宜指示します。										
参考書等	適宜指示します。										
受講者へのメッセージ	既存の看護実践と医療のあり方やそれらの基本的前提について、看護学からはいったん離れて心理学・社会学・倫理学の観点から検討し直すことができれば、と考えています。										
備考											
回	学習項目			学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション			この授業の目的・概要・進め方について説明する。				全員	対面 (演習)		
2回	心身医学と行動医学			心身医学、行動医学の今日的な課題について確認するとともに、この領域の研究に対する看護学の寄与と将来の展望について討議する。				小池	対面 (演習)		
3回	ポジティブ心理学的アプローチ			ポジティブ心理学的アプローチを踏まえた看護実践のあり方について討議する。				小池	対面 (演習)		
4回	看護学と心理学の接点			看護学と心理学の両者の視点を統合した学際的な研究のあり方について討議する。				小池	対面 (演習)		
5回	人間の善悪の概念			近代看護の母フローレンス・ナイチンゲールが愛読したイギリス文学作品における善悪の概念を比較分析し、ナイチンゲールの書簡や関連文献から現代の医療従事者の在り方について検討する。				ドライ デン	対面 (演習)		
6回	病と医療の存在理由			ナイチンゲールが最も影響を受けたイギリス文学作品における病を理解し、近代イギリス文学や関連文献の比較分析とともに医療の存在理由と将来展望について検討する。				ドライ デン	対面 (演習)		
7回	病の語りとその意義			病の語り(illness narrative)についてその保健医療における意味と意義を理解するとともに、その分析上の注目点について検討する。				浦野	対面 (演習)		
8回	社会構造と健康・病気			概念および現象としての健康・病気と社会構造との関係について理解するとともに、その分析上の注目点について検討する。				浦野	対面 (演習)		
9回	職業社会学から見た保健医療職			保健医療職のあり方と課題について職業社会学の視点から理解するとともに、その分析上の注目点について検討する。				浦野	対面 (演習)		
10回	社会的偏見の有る病と地域医療の在り方(1)			水俣病事件について概説します。				森下	対面 (演習)		
11回	社会的偏見の有る病と地域医療の在り方(2)			初期の水俣病事件の保健行政の対応を中心に検討します。				森下	対面 (演習)		
12回	生命・医療倫理の諸問題(1)			受講生が関心のある生命・医療倫理の諸問題について先行研究を批判的に検討する。				安部	対面 (演習)		
13回	生命・医療倫理の諸問題(2)			受講生が関心のある生命・医療倫理の諸問題について先行研究を批判的に検討する。				安部	対面 (演習)		
14回	生命・医療倫理の諸問題(3)			受講生が関心のある生命・医療倫理の諸問題について先行研究を批判的に検討する。				安部	対面 (演習)		
15回	まとめ			ディスカッションを通じ、心理的側面・社会的側面・倫理的側面からの看護ケアのアプローチの意義について検討する。				全員	対面 (演習)		